

「使用上の注意」改訂のお知らせ

スルホニルウレア系経口血糖降下剤

グリクラジド錠20mg「NP」 グリクラジド錠40mg「NP」

2022年4月

ニプロ株式会社

このたび、標記製品の「使用上の注意」を自主改訂により下記のとおり改訂致しましたのでお知らせ申し上げます。

本剤のご使用に際しましては、電子添文の各項を十分ご覧くださいますようお願い申し上げます。

<改訂のポイント>

相互作用(併用注意)：「イメグリミン塩酸塩」を追記／「スルファメチゾール」を削除

記

改訂後(_____下線：追加記載)	改訂前(_____下線：削除)												
3. 相互作用 併用注意(併用に注意すること) 1) 血糖降下作用を増強する薬剤 (1)～(2) 現行のとおり (3) 薬剤名等、機序	3. 相互作用 併用注意(併用に注意すること) 1) 血糖降下作用を増強する薬剤 (1)～(2) 略 (3) 薬剤名等、機序												
<table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>機序</th></tr></thead><tbody><tr><td>インスリン製剤 DPP-4阻害剤 ・シタグリプチン 等 GLP-1アナログ製剤 インスリン抵抗性改善剤 ・ピオグリタゾン α-グルコシダーゼ阻害剤 ・アカルボース ・ボグリボース ・ミグリトール ビグアナイド系薬剤 ・メトホルミン 等 <u>イメグリミン塩酸塩</u> 等</td><td>現行のとおり</td></tr><tr><td>サルファ剤 ・スルファメトキサゾール 等</td><td>現行のとおり</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	機序	インスリン製剤 DPP-4阻害剤 ・シタグリプチン 等 GLP-1アナログ製剤 インスリン抵抗性改善剤 ・ピオグリタゾン α -グルコシダーゼ阻害剤 ・アカルボース ・ボグリボース ・ミグリトール ビグアナイド系薬剤 ・メトホルミン 等 <u>イメグリミン塩酸塩</u> 等	現行のとおり	サルファ剤 ・スルファメトキサゾール 等	現行のとおり	<table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>機序</th></tr></thead><tbody><tr><td>インスリン製剤 DPP-4阻害剤 ・シタグリプチン 等 GLP-1アナログ製剤 インスリン抵抗性改善剤 ・ピオグリタゾン α-グルコシダーゼ阻害剤 ・アカルボース ・ボグリボース ・ミグリトール ビグアナイド系薬剤 ・メトホルミン 等</td><td>略</td></tr><tr><td>サルファ剤 ・<u>スルファメチゾール</u> ・<u>スルファメトキサゾール</u> 等</td><td>略</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	機序	インスリン製剤 DPP-4阻害剤 ・シタグリプチン 等 GLP-1アナログ製剤 インスリン抵抗性改善剤 ・ピオグリタゾン α -グルコシダーゼ阻害剤 ・アカルボース ・ボグリボース ・ミグリトール ビグアナイド系薬剤 ・メトホルミン 等	略	サルファ剤 ・ <u>スルファメチゾール</u> ・ <u>スルファメトキサゾール</u> 等	略
薬剤名等	機序												
インスリン製剤 DPP-4阻害剤 ・シタグリプチン 等 GLP-1アナログ製剤 インスリン抵抗性改善剤 ・ピオグリタゾン α -グルコシダーゼ阻害剤 ・アカルボース ・ボグリボース ・ミグリトール ビグアナイド系薬剤 ・メトホルミン 等 <u>イメグリミン塩酸塩</u> 等	現行のとおり												
サルファ剤 ・スルファメトキサゾール 等	現行のとおり												
薬剤名等	機序												
インスリン製剤 DPP-4阻害剤 ・シタグリプチン 等 GLP-1アナログ製剤 インスリン抵抗性改善剤 ・ピオグリタゾン α -グルコシダーゼ阻害剤 ・アカルボース ・ボグリボース ・ミグリトール ビグアナイド系薬剤 ・メトホルミン 等	略												
サルファ剤 ・ <u>スルファメチゾール</u> ・ <u>スルファメトキサゾール</u> 等	略												

【改訂の理由】

○「相互作用(併用注意)」の項

相手薬との整合を図り、「イメグリミン塩酸塩」を追記致しました。また、既に販売が中止されていることから、「スルファメチゾール」を削除致しました。

以上

薬機法改正に伴う医療用医薬品の添付文書電子化についてのご案内

2019年の薬機法(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(昭和35年法律第145号))の改正により、2021年8月1日から医療用医薬品の添付文書電子化が施行されました。これを受け、医療用医薬品に同梱されていた紙の添付文書は原則として廃止され、電子的な方法により閲覧することが基本となります。

■ 添付文書の電子的な閲覧方法について

以下のいずれかの方法により閲覧いただくことが可能です。①及び②については従来通りの方法であり変更はございません。

- ① 医薬品医療機器総合機構の「医療用医薬品情報検索ページ」から検索する

(<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuSearch/>)

- ② 当社医療関係者向けホームページから検索する

(<https://med.nipro.co.jp/pharmaceuticals>)

- ③ 製品外箱等に記載のGS1バーコードを「添文ナビ[®]」から読み込む
《専用アプリ「添文ナビ[®]」のダウンロードは右のQRコードから》



* 表題製品の電子添文は、こちらのバーコードから閲覧可能です。

グリクラジド錠 20mg、40mg 「NP」



今後とも当社製品のご使用にあたって副作用等の有害事象をご経験の際には、当社MRまで、できるだけ速やかにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

◎DSU(医薬品安全対策情報)No.308掲載(令和4年6月発行予定)

◎薬機法改正に伴い、2023年7月31日までに順次、個装箱への添付文書の同梱を廃止致します。流通の関係上、紙の添付文書が封入された製品においては、改訂前の添付文書が封入されておりますこと、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

◎最新の電子添文は医薬品医療機器総合機構の「医療用医薬品情報検索ページ」(<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuSearch/>)に掲載しています。また当社医療関係者向けホームページ(<https://med.nipro.co.jp/pharmaceuticals>)にも掲載しています。